

文部科学省 平成30年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
福祉領域で支援する方々への支援活動の質を高めるための学びに関する意識調査

本調査は福祉領域で支援する職務にある方（関連する企業内従事者、就労予定及び就労を目指す方を含む）を対象に、より支援の力をつけて、地域にとって必要な役割を担う人材育成に向けての学習カリキュラムを開発するための調査です。ご自分が支援の職務を確実に遂行し、その上で地域の中核的な立場として働くためにどのような学びが必要かを本調査で抽出したいと考えております。

質問1 現在の職業的立場についてお聞きします。該当するものに○印をしてください。

- | | | | |
|------------------|------|---|---|
| 1 福祉職員（具体的に職務内容等 | 経験年数 | 年 | ） |
| 2 学生（学校名など | | | ） |
| 3 会社員（職務内容等 | 経験年数 | 年 | ） |
| 4 そのほか（ | | | ） |

質問2 現在の支援について該当する対象領域に○印をしてください（複数可）

- | | | |
|---------|--------------|----------|
| 1 高齢者福祉 | 2 幼児・児童・子供福祉 | 3 障がい者福祉 |
| 4 疾病者 | 5 そのほか（ | ） |

質問3 現在の支援活動の頻度についてお聞きします。該当するものに○印をしてください。

- 1 日常的に支援活動をしている
- 2 職業的に支援活動をしている
- 3 日常的にも職業的にも支援活動をしている
- 4 支援活動はイベント等、たまにしている

質問4 支援活動する際のお気持ちであてはまるものを選んでください（複数回答可）

- | | | | |
|-----------------|-------------|-------------|----------|
| 1 積極的にやろう | 2 社会のためにやろう | 3 自分のためにやろう | |
| 4 支援される人のためにやろう | 5 組織のためにやろう | 6 楽しい | |
| 7 憂鬱だ | 8 仕方ない | 9 幸せだ | 10 不幸だ |
| 11 理不尽だ | 12 やるせない | 13 憤慨する | 14 面倒くさい |
| 15 私はプロだ | 16 自分の役割だ | 17 私は不足している | |

具体的な説明が必要な場合お書きください。

[]

質問5 ご自分が支援活動をする立場として、さらに活動を広げて地域の中核的な役割を果たす際に必要なことを身につけていると思いますか。

- 1 十分に身につけている
- 2 まあ身につけている
- 3 どちらでもない
- 4 あまり身につけていない
- 5 身につけていない

質問6 ご自分が支援活動の質を高め、地域の中核的人材になるために、さらに身に着けることができるものがあれば、又は新しく身につけることができることがあれば、どんな内容が必要だと思えますか。当てはまるものを選び、優先順位を記入してください。

- ・ 社会福祉学
- ・ 人文科学系の教養学・教育学 ()
- ・ 哲学関連 (思想・宗教学含む) ()
- ・ 社会学 (国際関係含む) ()
- ・ 政治学 (地域政策決定プロセス・法理論) ()
- ・ 経済学・経営学 (マネジメント学) ()
- ・ 医学及び看護学 ()
- ・ 自然科学分野系の生命科学 ()
- ・ コミュニケーション学 ()
- ・ 心理学 (社会系・教育系) ()
- ・ そのほか () ()

質問7 支援の質を上げるための学びの手法について効果的だと思われるものから優先順位をつけてください。

- ・ ゼミ方式の少人数でテーマを決めてのディスカッション ()
- ・ 実習を基本とした実践 ()
- ・ プロフェッショナルによる講義形式 ()
- ・ テキストベースによる講義形式 ()
- ・ レポート作成、発表などのアウトプット実践 ()

質問8 学びの質を上げて、支援活動をよりよく行うための学びについてのご意見・要望など自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

いただきました情報につきましては調査目的以外には使用しません。